

地域ブランド協議会について

一般質問



松尾 幸宏 議員

(自民の風・誠真会)

問 地域の活性化、また、地産地消につながる地域ブランド化への取り組みに関しては、各自治体が積極的に取り組んでいる。加西市においても平成15年に特許庁が地域ブランド商品であることを認定する地域団体商標に登録されたゴールデンベリーAが全国的に有名であるが、加西ブランド協議会の設立経緯、活動状況等をお聞きしたい。

答 加西のブランド協議会は、地域産業の開発研究、生産、宣伝、販路拡大を促進し、地域産業及び農業の振興を図り、あわせて市の活性化に寄与することを目指して、平成19年に加西市と加西商

工会議所、兵庫みらい農業協同組合の三者が協定を締結して設立されたものです。

特産品としてPRしてきた代表的なものは加西ゴールデンベリーAで毎年イベント出展しております。また、産地の歴史をまとめた冊子、加西ブランド誕生ストーリーを発行しており、市内小学生の学校教材としても提供して、地域産業の教育と食育の推進に活用しております。

ハリマ王ニンニクについては、平成20年度以降、地道な取り組みでテレビ番組にもしばしば取り上げられることもふえてきました。新しい商品開発ということでは、ダークホース(カボチャ)、茶っころ姫(枝豆)の生産拡大、販路拡大等について協議を進めてまいっております。また、加西ゴールデンベリーAを主材料にしてつくっておりますRAKANは、あっさりした甘みとフルーティーさで加西市をPRするツールとしても評価をいただいていると認識しております。

今年は、新商品開発をということで、加西産のジャガイモ、トマトピューレ、ハリマ王ニンニク、加西のお酒大吟醸、そして、市内の畜産農家で育てられた黒毛和牛の神戸ビーフ、または但馬牛の肉等、加西の農産物をふんだんに使った高級なカレーを目指して開発中です。このカレーを食していただくことにより加西の食材のすばらしさをPRしていきたいと考えております。

要望 ・RAKANをスパークリングワインにしたら、甘み、フルーティーさが生かせるのでは。
・ゴールデンベリーA等で、干しブドウをつくったらどうでしょうか。
・RAKANの搾りかすを飼料に配合し、加西産のブランド牛(根日姫ビーフ)として登録してはどうでしょうか。根日姫ビーフ入り的高级カレーを期待しています。

■その他の質問項目

・古法華自然公園キャンプ場について

加西市の介護保険サービスの受け方について

一般質問



長田 謙一 議員

(21政会)

問 加西市において地域包括ケアを充実させる取り組みは。

答 重要な介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるように、医療・介護予防、住まい、生活支援のサービスを一体的に提供する仕組みであり、団塊の世代の方々が75歳以上になる2025年をめどに、保険者である市町村が地域の特性に応じてつくり上げていくことが必要である。地域包括システム実現に向け、地域支援事業の充実、多様化により、

介護予防サービス及び生活支援サービスを強化することや、医療・介護連携を進めるための制度改正が行われており、行政として地域の実情を勘案しながら取り組み、特に地域支援事業のうち新しい介護予防、日常生活支援総合事業については、いきいき委員会など地域福祉活動や組織率の高い老人会の強みを生かした市独自の取り組みができないか検討し、生活支援コーディネーター及び地域ごとの協議体の設置や認知症対策の強化など、取り組むべき内容もあり、先進自治体の事例を研究して医療機関とも連携を進め、目標年度には地域包括システムの確立に努めたい。

問 介護保険制度の課題及び対策、また、解決策は。

答 超高齢化社会における高齢者数の増加と生産年齢人口

の減少により、介護保険給付の増加に社会保障費の増大、被保険者の介護保険料の負担の増大に加え、現状でも充足していない。介護職員の確保など、簡単には解決できない課題があり、地域包括ケアシステムを進めることで、介護予防の部分に重点を置き、健康寿命を延伸させることや、元気な高齢者もサービスの担い手になっていただき、社会参加とみずからの介護予防に寄与していただき、介護給付費の増大を防ぐのも重要である。介護職員の確保については、処遇改善などの対策を講じているが、十分な効果が出ていないので何らかの対策を講じたい。

■その他の質問項目

・統一地方選挙に向けて
・第4期加西市障害福祉計画について